日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	高度建築法規
科目基礎情報				
開設学科	建築学科	コース名		開設期 後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	建築関係法令集 総合資格学院			
担当教員情報				
担当教員	真田一穂	実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的				
近年、建築基準法及び建築士法遵守の厳格化に伴い建築物の防災対策強化が推進され、建築士の職責はますます重要となっている。建築士は常に品位を保持し、業務に関する法令及び実務に精通し、建築物の質の向上に寄与するよう公正かつ誠実にその業務を行わなければならない。高度建築法規では、各回の授業内容の理解と確認テストにおいて定められた目標に到達するために授業計画に沿って学習を行い、1級建築士合格レベル到達を学習目的とする。				
到達目標				
一級建築士の学科試験の学科Ⅲ分野（法規）において、実務に精通した法令の理解習得及び学科試験合格基準点である16点以上を取ることを到達目標とする。法令集の各条文を理解し、活用しながら毎回の小テストで各授業の理解度を確認する。				
教育方法等				
授業概要	建築は社会的なものであり、その存在意義からも法令に対する遵守は不可欠な要件である。これまで行ってきた建築法規の基礎をふまえ、より高度で実践的な形で建築法規の深い理解と応用力を習得する。2年次に学習した建築法規1及び建築法規2を基礎とし、1級建築士学科試験出題レベルへのステップアップをはかる。			
注意点	法令集を引き、条文の内容を理解することが重要となる。毎授業、法令集を必ず持参すること。講義の内容によりプリントを配布するのでファイリングしておくこと。出席は自己管理とし、出席不足にならないよう注意すること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は期末テストを受験することができない。日本工学院授業心得を守ること。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	60%	試験を総合的に評価する	
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	成果発表	10%	パフォーマンス理解 授業内で問題解答等について他者のお手本となる発表等によって評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	用語の定義	建築基準法及び施行令の用語の定義を理解する。（各回ともに1級建築士学科試験出題レベルの内容とする）		
2回	面積・高さの算定方法	実例参照を通じ面積、高さ、階数等について算定することができる。		
3回	確認申請・建築手続	確認済証の要・不要について理解する。		
4回	一般構造	居室の採光、換気、界壁の構造、階段等の規定について理解する。		
5回	防火区画・耐火・防火	主に一級製図試験で取扱う規模の防火区画について理解する。		
6回	避難施設等	実例の建築物等を参照し、避難施設の規定について理解する。		
7回	内装制限	各種建築物の内装制限と使用材料（不燃・準不燃・難燃）について理解する。		
8回	建築設備	各種建築設備の規定、実例について理解する。		
9回	構造強度	法20条1項 令36条、令36条の2、令81条の条文構成、内容を理解する。		
10回	道路	道路の定義、接道条件等を理解する。		
11回	用途地域	各種用途地域で建築できるもの、できないものを判定することができる。		
12回	容積率・建ぺい率	実例を通じ建ぺい率、容積率を算定することができる。		
13回	高さ制限	実例を通じ道路高さ制限、隣地高さ制限、北側高さ制限を算定することができる。		
14回	防火・準防火地域	耐火・準耐火建築物としなければならないものを理解する。		
15回	建築士法	建築士の設計・工事監理業務に係る近年の改正法について理解する。		